

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立八雲中学校）

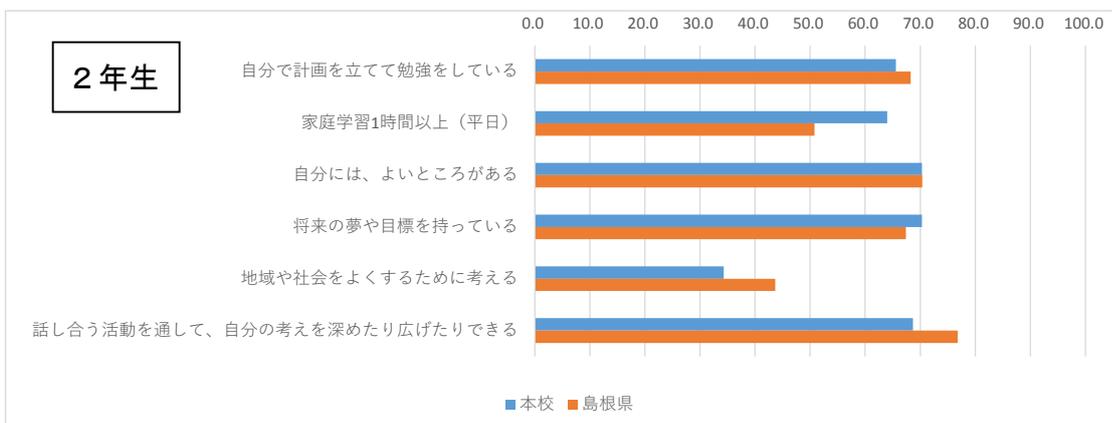
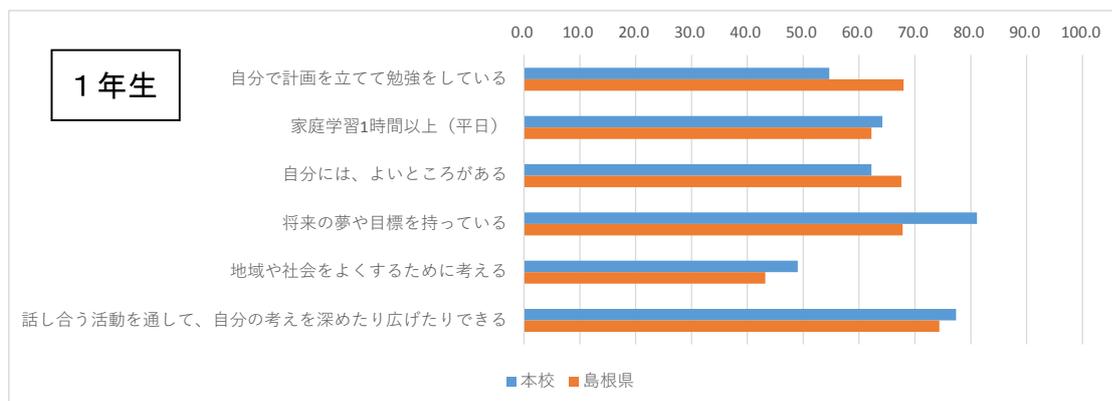
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

| | | | |
|------------------|---|------------------|--|
| 1 年 国 語 | ○全体で見ると全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好である。 ○文章の内容を読み取ることに特に達成率が高い。 ●「文法・語句に関する事項」において達成率が低い。 | 2 年 国 語 | ○説明的文章の読解力の達成率がやや高い。 ●漢字の読み書きができない。特に「読み」に課題がある。 ●文章を書くことに抵抗感がある生徒が多い。 ●主体的に学習に取り組むことができず、受け身になっている。 |
| 1 年 数 学 | ○「正の数・負の数」の単元は達成率が高い。 ●「文字式」「方程式」の単元の達成率が低く、両単元を混同して考えている生徒がいると考えられる。 ●主体的に学習に取り組む態度の達成率が低く、学んだことからさらに探求していこうという意欲が低い傾向がある。 | 2 年 数 学 | ○基礎はほぼ平均。式の計算、関数はほぼ平均。知識・技能の定着はよくなっている。 ●活用問題の正答率が低い。図形を見る・長い文を読む・グラフを読み取る等して考えることを苦手とする生徒が多い。 |
| 1 年 英 語 | ○リスニングや読み取り問題で、絵や表などを見て解答する問題が目標値を上回っている。 ●基本的な語形・語法や文の語順が理解できていない。 ●対話の流れに合った疑問詞を使ってたずねる文が書けていない。 | 2 年 英 語 | ○「語彙の知識・理解」の達成率が高い。 ●「リスニング(内容理解)」と「さまざまな英文の読み取り」に特に課題がある。授業の中で、バランスよく力をつける手立てを考える必要がある。授業の復習をしている生徒の割合が低く、学習が定着しにくいと考えられる。 |

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

| | | | |
|--------|---|--------|--|
| 1 年 | ○将来の夢や目標を持っている生徒の割合が県平均より高く、自分の将来について意識の高い生徒が多いと考えられる。 ●自分で計画を立てて勉強する生徒の割合が県平均より低く、様々な場面で、見通しを立てて学習するための手立てを検討していく必要がある。 | 2 年 | ○家庭学習時間1時間以上取り組んでいる生徒は県平均以上おり、自学ノートやテキスト学習が定着している。 ●定期テスト前の計画的な学習が十分機能していない生徒が多い。 ●コロナ禍の影響か、地域との関わりが薄くなってきている。 |
|--------|---|--------|--|

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 53名 2年生 64名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。